



山崎泰昌議員

## 交通機関

# 生活路線バスの確保

## 全路線とも廃止の恐れはない

**質問** 県北自動車で民事再生を申請したが、町内を運行しているバス路線の中で廃止になる恐れは。

**沼崎町長** 会社側の説明では、全路線とも今までどおり運行される。

**質問** 現在の路線では、町内居住区の変化に対応されていない。長崎踏切も改修されることから、長崎・飯岡地区へバスの運行をするよう提案しては。

**沼崎町長** 長崎地区にバスが運行していない理由を聞いたことがないのでわからないが、おそらく新規路線を要請しても黒字になる見込みが少ないことから難し

いと思う。デマンド交通システムもあるが、既存の公共交通機関があるうちはこのままで考えたい。

**質問** 廃止路線が出ることを想定した対策は。

**沼崎町長** 万が一の場合に備え、協議機関として地域公共交通会議設置の検討を行う。この会議は平時ある組織ではなく、交通機関が新規参入や撤退する場合に立ち上げるもので、現在は委員の人選を含めて検討している。仮に何か起きた場合、この会議を設置しておけば、参入まで6カ月かかるものが、1カ月で認可を受けられる。

## 議員7人が一般質問

### ③と④…デマンド交通システムとは

事前に電話などで予約した人の家や指定する場所を順次まわりながら、それぞれの目的地で降ろす「乗り合いタクシー」方式のこと

### ごみ処理

## 分別収集トラブルの回避 回収業者に丁寧な対応を指導

**質問** 本年4月から、新たなルールの下でごみの分別収集を実施しているため、分別の仕方に多少の間違いはあると思う。回収時、業者と町民との間でトラブル

があったと聞かすが、それらを未然に回避するため、回収業者に対して、回収時の対応の仕方を指導しては。  
**沼崎町長** 住民より苦情があった際には、電話などで



指定された袋以外でゴミを出したため、回収されなかったゴミ（回収できない理由を記載したメモが貼り付けられています）

業者にその内容を伝え、トラブルを避けるよう指導している。4月30日には、全回収業者の従業員を集め、正しいごみの出し方について再度確認し、住民の皆さまに對する丁寧な対応について指導を行った。現在は両者とも慣れ、順調に収集作業が行われている。

**質問** リサイクル分別指導員を雇用したが、その活動内容は。

**千代川住民生活課長** 4月から、資源ごみ回収車に随走してステーションに残されたごみの確認と住民の皆さんに分別収集の必要性を理解してもらうことが主な活動内容である。